社会化研究の源流と展開：9

—課題の検討に向けて (4)：ジンメルとギディングス

○大江 篤志

(東北学院大学)

キーワード：社会化、社会過程、社会構造

The Origin and Development of Socialization Theory and Research:9

Atsushi OHE

(Tohoku Gakuin University)

Key Words: socialization, social process, social structure

目 的

現行の社会化研究は1930年代に成立したといわれているが、筆者はそのスタートを1890年にあると考えている。すなわち1890年に登場した社会化概念による研究は1930年代に生じたパラダイムシフトを経て現在にいたっており、それは社会過程論的・社会構造論的・社会文化論的の3つのシフトであった。

社会化(Vergesellschaftung)の概念の初出はSimmel, G. (1890)であり、これが社会過程論的・社会文化論的のスタートといえる。この概念はその後さらに明確に規定され、特殊科学としての社会学のレゾンデートルとされる。アメリカの社会学者Small, A. (1895)はこれをsocializationとして翻訳し、アメリカ社会学会で紹介するところとなる。アメリカ社会学者Giddings, F. H. (1897)によって社会化は社会学の最重要理論とされにいたる。

本報告の目的はジンメルとギディングスの社会化の概念分析を通して社会過程論的・社会文化論的の特徴を明らかにし、さらに社会構造論的・社会文化論的の比較を通して社会過程論的・社会文化論的・社会構造論的の3つのシフトの相違をみだしていくことにある。

方 法

研究対象と方法：Simmel, G. (1890, 1894, 1895)とGiddings, F. H. (1897)の社会化概念の記述をテキストとする内容分析を実施した。

結 果

社会化の定義に関する記述は以下のとおりであった。

(1) ジンメル

“Diese Analogisierung des eigenen Schicksals mit dem Nachbarn ist einer der mächtigen Hebel der Vergesellschaftung überhaupt, indem sie die Beschränkung des Handelns auf das unmittelbare eigene Interesse aufhebt und das letztere durch den Zusammenschluss gewahrt sieht, der zunächst nur dem anderen zugute kommt.” (1890)

“mehrere Individuen in Wechselwirkung treten (1894)
“der Erfolg dieser Ursachen, die Förderung dieser Zwecke gerade eine Wechselwirkung, eine Vergesellschaftung unter ihren Trägern hervorruft (1894)

“die Kräfte, Formen und Entwicklung der Vergesellschaftung, des Mit-, Für- und Nebeneinander der Individuen” (1894)

“by socialization, Dr. Simmel apparently means chiefly the formation of social groups and the development of the form of association” (Giddings, F. H., 1897)

(2) ギディングス

“socialization is conceived as the development of a social nature or character – a social state of mind – in the individuals who associate” (1897)

“socialization is furthermore regarded as an effect of association, and of the formation of social groups, and as a

cause of the developed forms of association” (1897)

“the process of getting acquainted with one another, establishing sympathies and friendships, learning to enjoy association and to cooperate with one another in our work, we may call socialization (1897)

考 察

(1) ジンメルとギディングスにおける社会化概念：ジンメルの社会化概念は個人間の相互作用、協同と結合など人間関係の形成そのものを意味している。ギディングスもジンメルの社会化を社会集団の形成、人間結合の発達としている。これに対してギディングスの社会化概念には結合と結合による人間の社会性の発達が含まれている。社会性とは社会的精神状態のことであり、他者と知り合いになり、共感と友愛を確立し、人間関係を享受し、仕事で協同することを学び知ることとされている。そしてこのような社会性をもたすのが人間結合、人間関係であると同時に、このように発展した社会性がまた人間関係の発展の原因となるとされている。

(2) 社会過程論的・社会文化論的・社会構造論的の3つの社会化概念は2つの構成成分からなるといえる。その1つは人間と人間の結合関係、人間関係、社会集団であり社会そのものである。VergesellschaftungとはGesellschaftの形成、社会形成に他ならない。もう1つは社会と個人の社会性の相互的形成である。社会化とは人間関係、社会集団による人間性の形成と発展であり、そのように発展した人間性による社会集団の形成である。その意味で社会は個人を形成するとともに個人は社会を形成する。個人は社会の結果であり原因である、と同時に社会は個人の原因であり結果とみなされている。社会化によって個人も社会も変化・進化するというのが社会過程論的・社会文化論的の基本的な考え方である。

(2) 社会過程論的・社会文化論的・社会構造論的の3つの社会化概念

現行の社会化概念である社会構造論的・社会文化論的・社会過程論的の3つの社会化概念では社会は所与の条件であり、個人は社会の一員となるために社会構造の構成要素を獲得する。個人は社会構造のパーツであり、社会化は社会構造の維持の要件となる。社会過程論的・社会文化論的・社会構造論的の3つの社会化概念では個人は社会により発展させられるが、この発展した個人がまた社会を進化させる。個人と社会は相互的に進化する。

引用文献

- Giddings, F. H. (1897) *The Theory of Socialization: A Syllabus of Sociological Principles* The Macmillan Company, New York, NY.
Simmel, G. (1890) *Über soziale Differenzierung: Sociologische und psychologische Untersuchung* Verlag von Duncker & Humblot, Leipzig.
Simmel, G. (1894) *Das Problem der Soziologie* *Jahrbuch für Gesetzgebung, Verwaltung und Volkswirtschaft* *Deutschen Reich*, 18, 1310-1307.
Simmel, G. (1895) *The Problem of Sociology* *Annals of the American Academy of Political and Social Science*, 6, 412-423.